

5月からいよいよ「令和」の時代、元号のごとく、人々が美しく心を寄せ合う時代が続いてほしいと思います。令和初のクリニック通信ができましたのでご一読ください。

### 院長ブログより 《水と安全と医療と》

先日、上映中の邦画「空母いぶき」を観てきました。

令和の時代が幕明けし、誰しもが今後も平和な時代が続いていくことを願っていますが、国際情勢がかつてなく不安定な昨今、深く考えさせられる映画でした。

戦後の奇跡的復興による繁栄と平和を謳歌し、紛争やテロは遠い世界のことだと感じてきた我々日本人は、「水と安全はタダ」だと思っているなどと揶揄されるようことがあります。

けれども、すでに2013年のアルジェリア人質事件、2016年のダッカ襲撃事件などで、何人もの日本人が殺害され、日本人の意識改革が迫られています。

水道をひねれば飲むことさえ出来る水が出て、スイッチを押せば電気がついてガスが出る。電車やバスはほぼ間違いなく定刻通りに駅に到着し、交通規則はきちんと守られている。銀行や店でおつりをごまかされることはないし、最近少し治安が怪しくなったとはいえ、レストランで場所取りのためにカバンを椅子に置いて盗まれることはまずなく、道を歩いていていきなり殺されるようなことなど滅多にない…

格差社会とはいっても、小中学校に行けない子供はほとんどいないし、職種さえ選ばなければ仕事が全くないということもなく、生活保護制度があるので最低限の生活は何とかかなり、ホームレスが餓死するようなことはニュースになるほど珍しい…

こんな当たり前のことが、実は日本以外の国では全く当たり前でないのは言わずもがなです。

さらにこのことは、医療についても当てはまります。離島や僻地など医療過疎の問題はあるにしても、医療の恩恵に全くあずかれないような地域はほぼ皆無で、血液検査やレントゲンや胃カメラのような基本的検査は言わずもがな、CTやMRIなどの高度な検査や大きな手術でさえ、いつでもどこでも、そしてどんな人でもほぼ平等に受けられます。

医療レベルは世界屈指で、しかも世界に誇る国民皆保険制度によって、どんなに高度な医療でも少ない自己負担で、しかもフリーアクセスで受けられ、医療を



受けられずに命を失うようなこともそう滅多にない。

かつて海外在住邦人医療相談という事業に参加し、3週間ほどケニアやタンザニアなどのアフリカ諸国を訪れ、医療施設も視察したことがありますが、一流といわれる病院でも日本とはソフトハードとも雲泥の差で、まともな医療を受けられるのは金持ちのみ、それでも心臓外科のような大きな手術が必要になれば国外で受けざるを得ないというような事情を聴き、唖然としたのを忘れられません。

作家の曾野綾子氏は、水道や電気やインターネットや公共交通など、高度に発展した社会インフラと、世界に類をみない治安の良さに恵まれている私たち日本人は、あまりにもそれを当然のこととして慣れてしまい、そのありがたさ、そして自分の身を守るすべや意識を忘れてしまったのではないかと述べています。

私は、医療に関しても同じことで、世界広しといえど、これだけすぐれた医療技術とシステムの恩恵にあずかっている国は日本以外にはないのだということを知ると日本人はいま一度認識すべきだと思います。

病院食がまずいとか、待ち時間が長いとか、職員の対応が悪いとか、医療過誤だとか、そういったことばかりがクローズアップされ、バッシングの対象にさえなる今の日本の医療、私はそれらが些細なことだといつものは毛頭ありませんが、よく言えば医療の質がどんどん上がってサービス業というレベルまで昇華されてきた証であり、悪く言えば、日本人はそれだけ贅沢になってしまったのだと感じています。

実は今、少子高齢化や医療費の増大で、この国民皆保険制度は崩壊の危機にさらされています。政府は入院期間の短縮、在宅医療の推進、ジェネリック薬品の推奨、薬価の引き下げなど、様々な施策で対処していますが、焼け石に水といったところで、このままでは近い将来、我が国も米国のように民間保険主導にシフトせざるを得なくなり、そうなればまさに受けられる医療を松竹梅で選ばざるを得なくなるかもしれません。

我々日本人は、「水と安全」のみならず、「医療」も決してタダではなく、先人の血のにじむような努力によって築きあげられてきた貴重な財産であることに思いを馳せ、そしてその財産を守り続けていくためには、そのありがたみをしっかり認識する必要があるのではないのでしょうか。



## ナーズこらむ 「日の光」

新緑眩しい季節も過ぎ、日差しも強くなってきた今日この頃、みなさまどうお過ごしでしょうか？ムシムシとした梅雨ももうすぐそこ…カビ予防のために冷蔵庫や冷凍庫がいっぱいになってしまう季節がやってきますね。

ところで、私は観葉植物が好きで今までいくつか家にお迎えしてきました。難しいものは育てられないので、育てやすいものばかりですが…。

葉の色や形などの外見や、水のやり方、陽のあてかたなどみんな違って個性があります。家の環境や私との相性(?)もあるのか、何度トライしてもどうしてもダメになってしまうものもあれば、特に苦労なくグングン育ってくれるものもあり、お世話をする中で発見や驚きがあります。

伸びすぎた枝や葉を切った後も、それを処分してしまうのも切ないので小さい器や花瓶に水挿ししておくこともよくあります。しばらくすると水に入れている茎から根が何本も生えてきて、よりしっかりと水を吸って生きようとする力強さを目の当たりにします。根だけでなく新しい葉も出てきます。自分の今の環境に適応し、生きるために身体を変化させていくその強くしなやかな姿に感度し、励まされたことが何度もあります。

私たち人間には、切ったら手足が生えてくるなんていう力はありませんが、学習し工夫して成長していく力があります。辛いことや苦しいこともあります。植物にとっての水や肥料である美味しいご飯をしっかりと食べ、日の光りである活力の湧いてくる趣味や楽しみ、やりがいのあるものからパワーをもらって、強くしなやかに生きていきたいなあと思っています。

日の光りはたくさんあればある方が良いので、色々なことに興味を持って挑戦し、好きなこと、楽しいことをたくさん見つけていきたいです。

みなさんは、どんな日の光りをお持ちですか？

(看護師TEより)



## じむこらむ「新しい時代(とき)」

❀人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ❀

…という意味が込められている新しい元号「令和」がスタートしました。

子育てが一段落し、約10年ぶりにお仕事に復帰させていただくことになり、私も新しくスタート、毎日新しい経験と勉強の日々です。

甘いもの好きな私… 「令和にちなんだお菓子やスイーツランキング」

- 5位★新元号どらやき ・真ん中に大きく令和の印が印象的
- 4位★平成&新元号プリントせんべい ・平成と令和の到来をお祝いしたプチせんべい
- 3位★令和プリント饅頭(おみくじ付き) ・おみくじは開けてからのお楽しみ
- 2位★特選カステラ ・金粉がちりばめられた豪華なカステラ
- 1位★新年号バウムクーヘン ・たまご風味+桜風味2層の紅白

お好みのお菓子はありましたか？ランク外にもかわいいケーキなどがありました(笑)



「ねんりん家」のバウムクーヘン

(事務スタッフNNより)

☆クリニック通信のバックナンバーをご希望の方は、受付でお申し出ください。  
院長ブログはHPからリンクしていますので、他のブログもぜひご一読ください。

おおかど循環器科クリニック

循環器科・呼吸器科・外科

院長 大加戸彰彦

〒651-0055 神戸市中央区熊内橋通7-1-13 神戸芸術センタービル内医療モール4F

TEL 078-855-9151 FAX 078-251-5033

e-mail aki-ohkado@ohkado-heart-clinic.com

HP <http://www.ohkado-heart-clinic.com>

診察時間 午前9~12時・午後4~7時 木・土曜日午後、日祝日は休診